

下川町歴史的資料等標柱設置箇所

～標柱を探しながら下川の歴史に想いを巡らせてみませんか？ ブラ・・・～

それぞれの歴史については、ふるさと交流館、町民会館図書室で詳しく調べることができます。

①北風磯吉生誕地

天塩川流域のアイヌ語や文化を伝承し多くのこと今に伝えた。明治時代に上名寄で生まれ、名寄で農業を営み、日露戦争で武功をあげました。

②上名寄孵化場跡地

大正15年、豊富な湧水を利用して鮭鱒孵化場が設置され、名寄川に稚魚が放流されました。昭和38年美深に施設が統合され閉鎖されました。

③水田発祥之地

明治36年藤原次郎左衛門がこの湿地帯3畝を借りて沢水を利用して水稻試作に成功しました。上名寄地区で多くの方が水田を始めるには用水路などの設備ができてからでした。

④開拓発祥之地

明治34年岐阜県郡上郡高鷲村から古屋達造氏を団体長として24戸が入植し、下川の開拓が始まりました。標柱は代表して古屋達造氏の住宅に設置してあります。

⑤教育発祥之地

明治37年、上名寄19線に下川に初めての「上名寄簡易教育所」が建てられました。明治41年火災で焼失し、今の16線に移り、上名寄小学校となり平成14年下川小学校に統合されました。

⑥下川駅通跡地

明治36年、名寄・興部間の道路ができ、道を移動する人に宿や馬を提供する「パンケヌカナン駅通」が設置されました。

⑦松浦武四郎野営之地

安政4年(1857)、旧暦6月(新暦7月頃)に天塩川流域地理調査のため、天塩川を遡った武四郎が支流の名寄川を遡り下川で野営しました。

⑧二の橋教育発祥之地

明治41年、地域の児童の通学が遠距離で困難なため、「二の橋特別教授場」が開設しました。明治44年には手狭になり34線に移転し、「二の橋小学校」となり、昭和47年下川小学校に統合されました。

⑩一の橋駅通跡地

明治36年、名寄・興部間の道路ができ、道を移動する人に宿や馬を提供する「シカリベツ駅通」が設置されました。

一の橋とは、道路に架ける橋を上流から一の橋、二の橋、三の橋と名付けたため、その後付近の集落の名前となりました。

⑪松浦武四郎

名寄川上流到達点
安政4年(1857)の調査の時、武四郎が由仁内沢川との合流点まで川の遡り案内のアイヌの人から地名を教わりました。

⑨一の橋教育教育発祥之地

明治41年、地域の児童の通学が遠距離で困難なため、「然別簡易教育所」が開設しました。昭和6年には手狭になり、今のところ移転し、「一の橋小学校」となり、平成14年下川小学校に統合されました。

【お願い】令和2年5月12日現在、下川町・北海道は新型コロナウイルス感染症予防対策のため不要不急な外出の自粛を求めていますので、しばらくの間はグーグルでお楽しみください。

マニアックな方へ ～経緯度をお伝えしますので、グーグルマップやカーナビで現地を探してみてください。～

No.	経緯度	No.	経緯度
①	44. 319018, 142. 579022	⑦	44. 313350, 142. 628243
②	44. 3109039, 142. 5791405	⑧	44. 307178, 142. 689236
③	44. 3094143, 142. 5895258	⑨	44. 319441, 142. 758139
④	44. 3075923, 142. 6027914	⑩	44. 314229, 142. 787388
⑤	44. 3070621, 142. 606524	⑪	44. 299509, 142. 673551
⑥	44. 304386, 142. 632555		